

# セッコク

Dendrobium moniliforme (L.) Sw.

ラン科

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

石川県ではきわめて稀産の植物で、現在知られている産地は1箇所のみである。(現況:RO)

## 形態

日本に産するセッコク属植物は、セッコクとキバナノセッコクの2種であるがそのうち、本県には本種セッコクが分布する。近縁種のキバナノセッコクとの相違点は本種では花は1~2個ずつ茎の上方の節から出て、淡紅色または白色であるのに対して、キバナノセッコクでは、花は3~5個ずつ上方の節から出て、緑黄色である。また、本種では側萼片が楕円形なのに対して、キバナノセッコクでは逆三角形。いずれも茎は肉質で束生し、はじめは葉鞘に包まれる。葉は革質。

## 国内分布

本州、四国、九州、さらに朝鮮半島南部、台湾、中国(本土)に分布。本県が北限ではなく、岩手、宮城両県からの報告があり、日本海側では新潟県に分布する。

## 県内分布

外浦区、かつては南加賀区にも分布した記録があるが現状は不明。

## 生態など

着生の多年生草本。開花期は5~6月。

## 生育環境

海に面した断崖で、積雪は免れるものと思われる。

## 危険要因

園芸採取、自然遷移、産地局限、その他。

## 特記事項

ごく近年発見された。



林 二良・2005年4月26日

分布図はありません。